

東北地方 3か月予報

(2月から4月までの天候見通し)

平成25年1月24日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

2月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

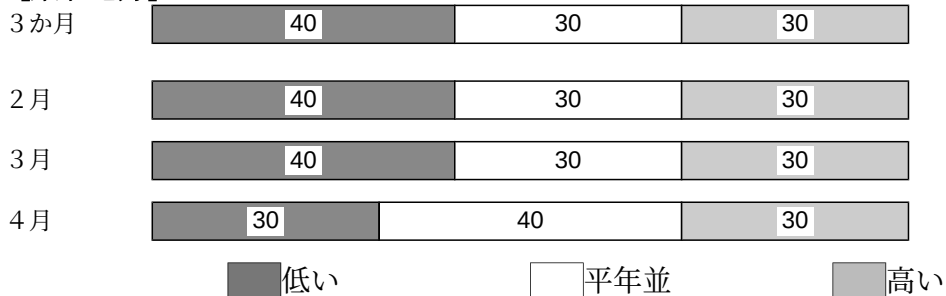
3月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

4月 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

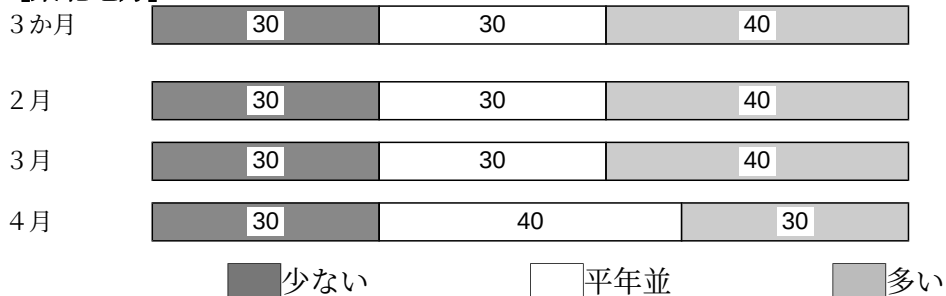
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

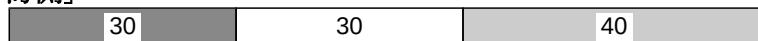
[東北地方]



<<降雪量>>

[東北日本海側]

3か月



少ない

平年並

多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月25日

3か月予報：2月25日（月） 14時

暖候期予報：2月25日（月） 14時

なお、2月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	2月	3月	4月	2月～4月	2月	3月	4月	2月～4月	2月	3月	4月	2月～4月
青森	-0.7	2.4	8.3	3.3	111.0	69.9	63.4	244.3	69.8	130.5	182.3	382.6
深浦	0.1	2.9	8.5	3.8	78.0	78.0	87.1	243.1	46.5	110.1	173.0	329.6
むつ	-1.2	1.8	7.4	2.7	82.9	82.0	80.7	245.7	91.3	146.4	188.5	426.1
八戸	-0.5	2.7	8.5	3.5	40.1	52.0	64.3	156.3	129.6	168.1	188.9	486.7
秋田	0.5	3.6	9.6	4.6	89.1	96.5	112.8	298.3	62.5	124.7	170.4	357.6
盛岡	-1.2	2.2	8.6	3.2	48.7	80.5	87.5	216.6	127.5	160.4	173.7	461.6
大船渡	1.1	3.8	9.2	4.7	45.5	98.0	142.8	286.2	136.9	157.6	173.0	467.5
宮古	0.4	3.3	8.7	4.2	60.1	82.1	100.6	242.7	152.9	178.6	189.3	521.0
仙台	2.0	4.9	10.3	5.8	38.4	68.2	97.6	204.3	151.8	177.0	188.5	517.3
石巻	1.2	4.1	9.4	4.9	35.1	71.1	93.2	199.3	163.1	185.0	191.3	539.3
山形	0.1	3.5	10.1	4.5	62.7	68.6	68.4	199.7	98.9	140.3	176.1	415.4
新庄	-0.7	2.2	8.5	3.3	138.9	115.9	96.3	351.1	57.7	111.9	156.4	327.4
酒田	1.9	4.6	10.2	5.6	114.0	106.7	102.4	323.1	59.2	117.2	172.4	348.8
福島	2.2	5.3	11.5	6.3	44.3	75.6	81.0	200.9	142.3	174.2	186.4	502.9
若松	-0.1	3.3	10.0	4.4	71.4	71.7	64.3	207.4	98.8	138.2	172.7	409.7
白河	0.8	3.9	10.0	4.9	38.5	78.2	96.4	213.1	152.4	176.8	182.6	513.2
小名浜	4.0	6.6	11.3	7.3	58.0	107.5	125.3	290.8	177.9	185.5	188.8	552.2

	降 雪 量(cm)			
	2月	3月	4月	2月～4月
青森	176	76	6	258
深浦	92	40	2	133
むつ	143	89	5	238
八戸	75	47	3	125
秋田	108	43	1	152
盛岡	74	46	4	124
大船渡	23	13	1	37
宮古	55	40	3	98
仙台	23	14	1	38
石巻	20	11	1	31
山形	125	57	3	185
新庄	217	126	14	356
酒田	98	35	1	134
福島	57	24	1	83
若松	142	66	5	213
白河	47	27	3	77
小名浜	—	—	—	—

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	2月	3月	4月	2月～4月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.2～+0.4	-0.4～+0.3	-0.4～+0.5	-0.4～+0.3
	東北日本海側	-0.2～+0.5	-0.4～+0.2	-0.4～+0.3	-0.4～+0.3
	東北太平洋側	-0.2～+0.5	-0.4～+0.3	-0.2～+0.5	-0.3～+0.3
降水量平年比(%)	東北地方	85～110	89～116	88～115	93～112
	東北日本海側	90～110	85～116	89～115	95～107
	東北太平洋側	72～116	82～115	81～118	87～113
降雪量平年比(%)	東北地方	78～112	81～119	16～85	81～122
	東北日本海側	85～119	81～128	16～65	76～121
	東北太平洋側	78～105	64～113	8～49	79～116

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料（2～4月）

平成25年1月24日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

2～4月	
2月	
3月	
4月	

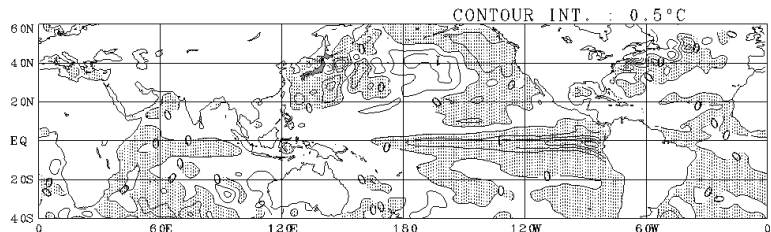
2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、東部インド洋から西部太平洋赤道域にかけて正偏差、西部インド洋赤道域と中部・東部太平洋赤道域では負偏差の予想。予報期間中はエルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生せず平常の状態が続く見込み。

対流活動(図略)は、インドからフィリピンの東にかけて平年より活発となり、亜熱帯ジェット気流をユーラシア大陸東部で北に蛇行させ、日本付近で南に蛇行させる。

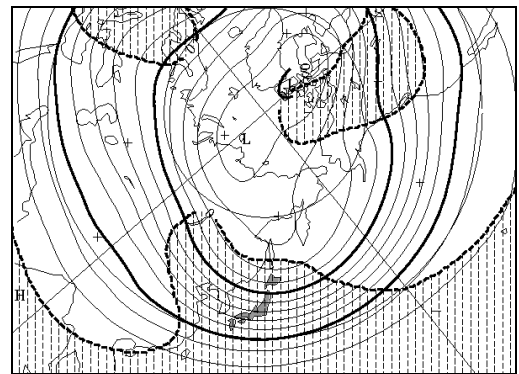
500hPa 高度(中図)は、このジェット気流の蛇行に対応して、ユーラシア大陸東部で正偏差、日本付近で負偏差となる予想で、日本付近へは寒気が流れ込みやすい予想。アリューシャン低気圧は平年より日本の近くで強いため、冬型の気圧配置はやや強く、北日本は低気圧の影響を受けやすいとみられる。

東北地方では、2月と3月を中心に寒気の影響を受けやすく、やや低温傾向が予想される。また、降水量はやや多い傾向で、東北日本海側の降雪量はやや多い傾向となる見込み。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差。



3 か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図

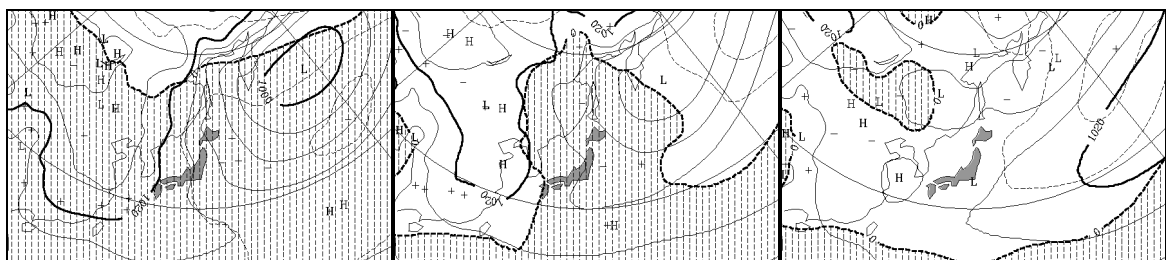
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

2月：大陸から日本の東にかけて広く負偏差に覆われる。北極付近の気圧が高く、日本付近の気圧が低いいため、日本付近に寒気に流れ込みやすい。アリューシャン低気圧は平年より強く、冬型の気圧配置は平年に比べやや強い見込み。このため、東北地方は寒気の影響を受け、やや低温傾向となる。また日本付近を低気圧が通過するため、降水量はやや多い傾向と予想する。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

3月：日本付近は負偏差に覆われる。アリューシャン低気圧は平年より日本の近くで強く、シベリア高気圧も平年より強いいため、冬型の気圧配置は平年に比べ強い見込み。東北地方は低気圧の影響を受けやすく、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が強まり、寒気の影響を受ける。このため、やや低温傾向で降水量はやや多い傾向と予想する。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

4月：日本付近は広く正偏差に覆われる。日本付近の等圧線の間隔は広くなり、日本の東では太平洋高気圧が北に張り出す予想。日本付近を高気圧と低気圧が交互に通るようになる。東北地方では天気は数日の周期で変わり、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



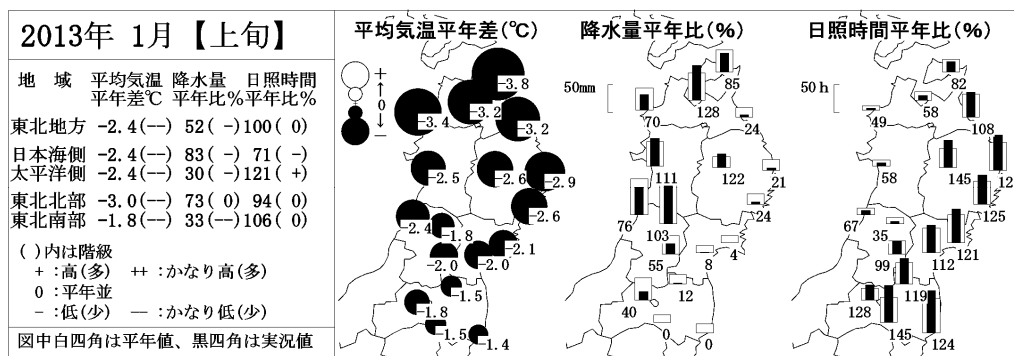
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から2月、3月、4月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

1月上旬：この期間、冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。寒気に覆われ、気温はかなり低くなった。1日から4日にかけては低気圧や前線および冬型の気圧配置の影響により、東北日本海側を中心に大雪となり、3日は青森県と福島県で日降雪量 50cm 以上の所があった。9日から10日にかけては強い冬型の気圧配置の影響により、東北日本海側で大雪の所があった。

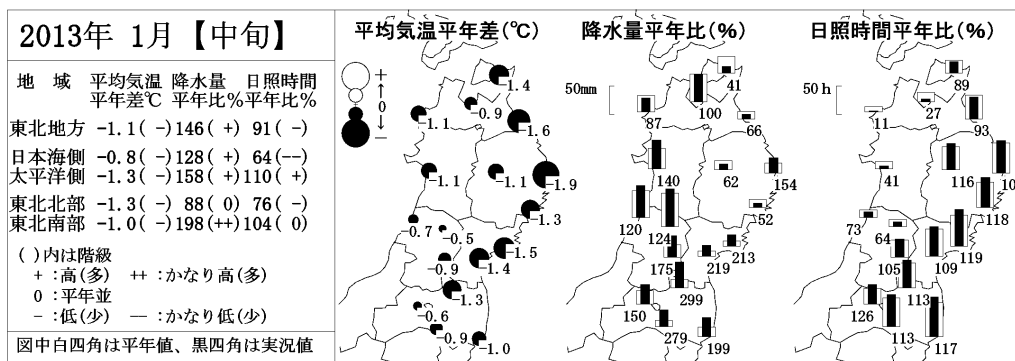
平均気温はかなり低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。



1月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

1月中旬：期間のはじめは冬型の気圧配置がゆるみ、低気圧と高気圧が交互に通過した。期間の中頃からは冬型の気圧配置が続いた。このため、東北日本海側では曇りや雪の日が続き、大雪となる日があった。東北太平洋側では晴れの日が多かった。一時、強い寒気が南下したため、気温は低くなった。14日は本州の南を低気圧が発達しながら東進したため、東北南部を中心に平地でも大雪となった。18日は強い冬型の気圧配置の影響により、各県で大雪の所があった。

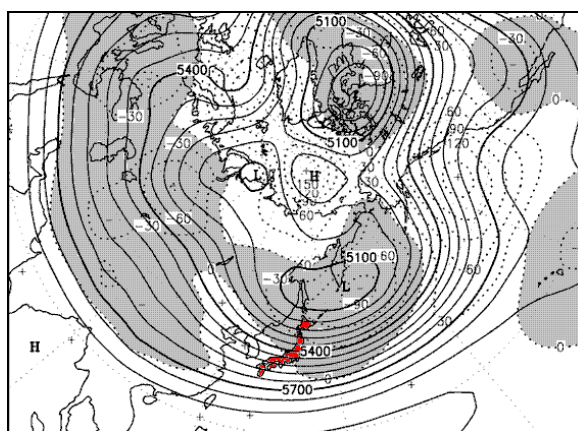
平均気温は低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で多い。



1月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

1月(20日まで)：500hPa 高度は、偏西風の蛇行が明瞭で、北極海から中央シベリアにかけてと太平洋北東部で正偏差となり、気圧の尾根が発達した一方、オホーツク海を中心に負偏差となり、北日本から日本の東にかけて気圧の谷が深まった。シベリア高気圧、アリューシャン低気圧はともに平年より強く、冬型の気圧配置が強かった。東北地方は、寒気が流れ込みやすく、上旬を中心に低温となった。



1月1日～20日の平均 500hPa 高度

実線は高度(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 30m)。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
2月	5.9	18.8	5.1	16.8	15.6	8.2	19.0	5.0	10.8	12.4	17.6	7.1
3月	12.7	13.9	12.0	14.7	17.6	11.2	19.4	7.2	14.4	11.7	19.2	8.2
4月	17.2	9.4	16.0	11.3	16.6	10.5	18.0	8.0	16.6	9.1	18.2	7.4

晴れ日数は「日照率 40%以上の日数」、降水日数は「日降水量 1mm 以上の日数」。